

時系列の PT データを用いた銀座来訪者の行動特性の変化

東京工業大学

学生会員

○小林

巴奈

一般財団法人計量計画研究所

正会員

毛利

雄一

東京理科大学

正会員

寺部

慎太郎

一般財団法人計量計画研究所

正会員

森尾

淳

1. はじめに

東京都市圏の都市開発は、戦災復興以降急速に進められ、高度成長期を経て各地域で特徴のある成長を果たしてきた。なかでも、銀座は、街の歴史や文化を守りながら、その時代をリードする発展を続け、常に人々の関心を集め、全国の商業地を象徴するブランド性の高い街に進化してきている。本研究では、東京都市圏の繁華街の代表である銀座の街を対象に、人々のライフスタイルや社会構成が変容する中、銀座を訪れる人々の行動特性がどのように変化したのかを把握する。具体的には、人々の行動特性を長期的な時系列データとして捉えることが可能なパーソントリップ調査データ（以下 PT データ）を活用し、銀座来訪者の個人属性、滞在時間、交通手段等の時系列変化を捉えるとともに、他の繁華街との比較を通じて、銀座来訪者の特性を分析する。

2. 銀座の特徴と現状

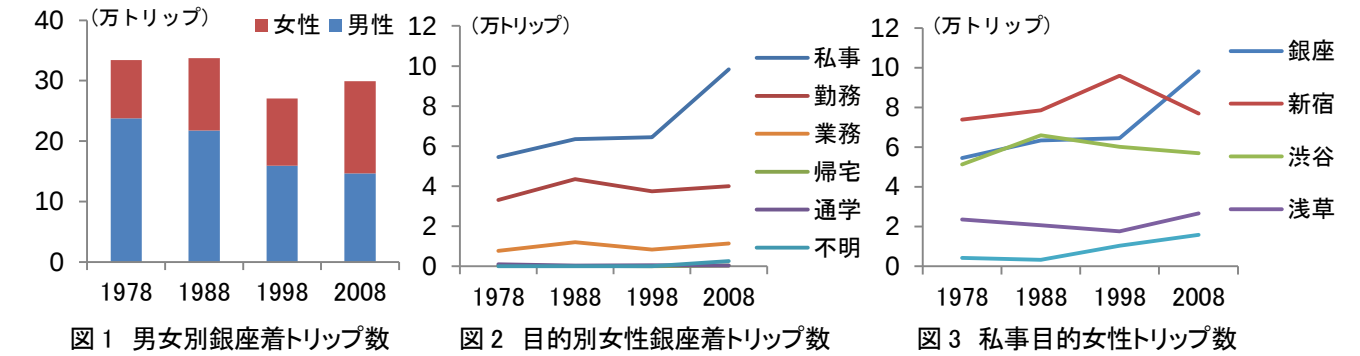
銀座は明治以来、歴史や伝統を重んじながら先進的な発展を遂げ、商業文化の象徴とされる街であり、百貨店や世界有数のブランドショップが立ち並ぶ高級な街のイメージが浸透しており、世界にもその名を轟かせている。また、最近では、ファストファッションブランドが次々と出店し若年層も訪れやすい街となっている。銀座は、その時代ごとに最も勢いのある店が出店し、現在もその美しい景観は人々に親しまれ、賑わいを見せている。2007 年の商業統計調査に基づき、東京都の商業集積地区を比較すると、小売業事業所数(表 1)の 1 位は銀座地域であり、売場面積も 1 位であった。また、銀座の年間販売額は年間 4.8 兆円を超え、東京の商業における中心的な役割を果たしている。このように、銀座は百貨店や多種多様な専門店が集まり、商業・業務機能が集積した繁華街であると言える。

表 1 小売店事業所数

	商業集積地区	店数
1	銀座地域	813
2	原宿駅周辺	699
3	町田駅南口地域	589
4	吉祥寺駅北口	564
5	自由が丘駅周辺	492
6	蒲田駅西口	462
7	新宿駅東口	454
8	浅草 1 丁目	405

3. 時系列の PT データに基づく銀座来訪者の特性分析

時系列の PT データに基づく平日の男女合計の銀座来訪者（東京都市圏居住者を対象）は 1998 年に減少したが、2008 年には女性の来訪者数の増加によって、全体の来訪者は増加に転じている（図 1）。この女性の来訪者の増加は、私事目的による来訪の増加によるものであり（図 2）、他の繁華街における私事目的の来訪者の推移と比較すると、1998 年～



キーワード 銀座 パーソントリップ調査 時系列データ 東京都市圏 交通行動分析 繁華街

連絡先 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2 番 9 号 TEL:03-3268-9911

2008 年の 10 年間で、他の繁華街には見られない大幅な増加を示している (図 3)。

以降では、私事目的の女性来訪者に着目し、私事目的を、自宅から私事活動を行う場合の「自宅-私事目的」とそれ以外の「その他私事目的 (例えば、勤務先からの私事目的)」に分けて分析を進めることとする。

「自宅-私事目的」の女性来訪者の増加は、無職、就業者 (図 4)、60 歳以上の高齢者層 (図 6) で顕著であり、「その他私事目的」の女性来訪者の増加は、就業者 (図 5) や、30 代以上 (図 7) で顕著であることが確認された。

銀座への到着時刻と滞在時間の特徴をみると、「自宅-私事目的」の女性来訪者は、10 時～11 時に銀座に訪れ (図 8)、1～2 時間程度の滞在であり、滞在時間の時系列変化をみると長くなる傾向にある。

「その他私事目的」の女性来訪者は、就業者が昼食時 (12 時) と仕事終わり (18 時) に銀座に訪れ (図 9)、滞在時間は 30 分～1 時間程度と短時間の滞在となっている。図 9 で銀座と他の繁華街を比較すると、銀座は、トリップ数が大きく集中する時間帯が 2 度確認でき、12 時～14 時の昼食時の来訪者が多いことが他の繁華街とは大きく異なる。銀座には、あらゆる種類の飲食店が多く集積しており、女性に銀座のランチが人気を集めていることがうかがえる。また、2008 年の「自宅-私事目的」の女性来訪者の出発地別トリップ数 (図 10) をみると、銀座来訪者は 23 区内からのトリップが多いが、広範囲からの来訪もあり、その圏域も拡大傾向にある。この他に、詳細な年齢階層、交通手段及び移動時間の特性等を分析し、銀座来訪者の行動特性やその変化を明らかにした。

4. おわりに

東京都市圏の歴史的背景や社会変動を踏まえて、長期的な時系列の PT データを分析することで、定量的に銀座来訪者の行動特性の変化を捉えることが可能となった。銀座来訪者を把握することは、今後の銀座の発展の方向性とそれに対応した新たな取り組みを検討する上で貴重な材料となる。今後は、ビッグデータなどの PT データ以外のデータも組み合わせることにより、より詳細かつ現実的に即した分析を試みたい。

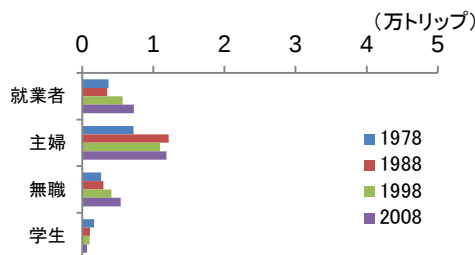


図4 自宅-私事目的銀座着トリップ数(女性)

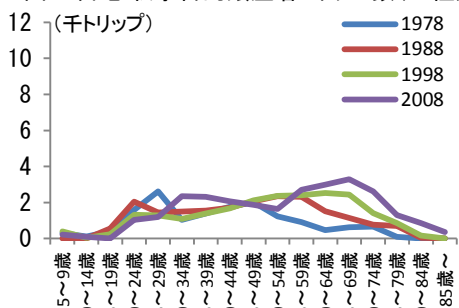


図6 年齢階層別自宅-私事目的銀座着トリップ数(女性)

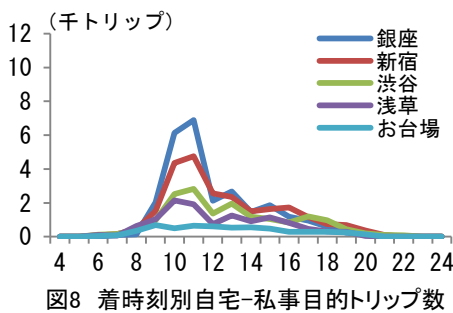


図8 着時刻別自宅-私事目的のトリップ数(女性)(2008年)

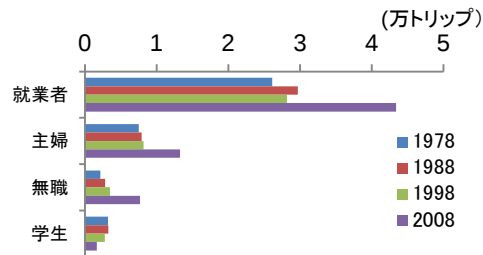


図5 その他私事目的銀座着トリップ数(女性)

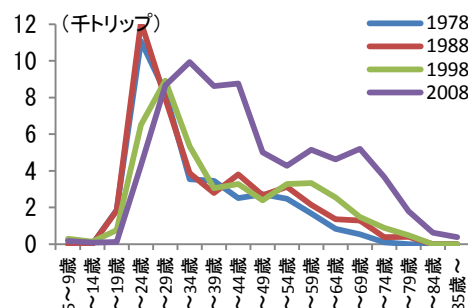


図7 年齢階層別その他私事目的銀座着トリップ数(女性)

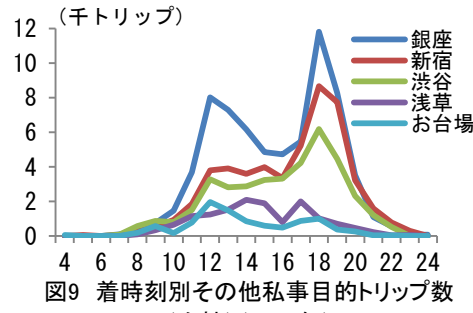


図9 着時刻別その他私事目的のトリップ数(女性)(2008年)

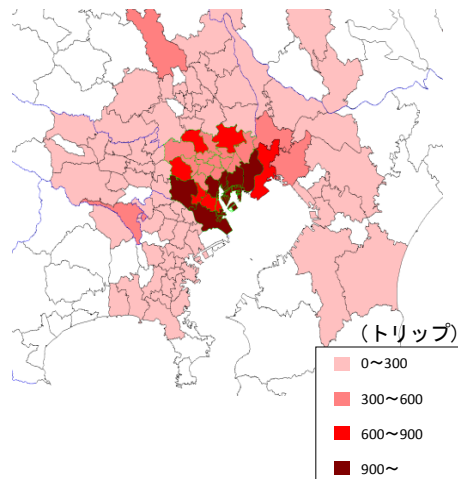


図10 発地域別自宅-私事目的の女性トリップ数(2008年)